

## 書くまえに...

### ① 書くことに対する意欲や経験について聞く。



書くのは好きですか。〇〇語(母語)でも書いたことがありますか。  
今日は日本語でたくさん書きましょう。いいですか。がんばりましょう。

- ・好き/嫌いの理由やどんなものを書いたかなど、自然な流れでやりとりをし、リラックスして書くことに取り組めるようにする。

### ② 課題について話し合い、わかったかどうか確認する。



大切なものは何ですか。どうして大切ですか。教えてください。

- ・聞きながら、「そうですか。いいですね。」など、相槌をうち、興味を示す。



では、今から、〇〇さんの大切なものについて書きましょう。  
たくさん書いてください。いいですか。

### ③ 用紙の選択・用紙の使い方がわかっているかどうか確認する。



まず紙を選びましょう。どの紙に書きますか。

- ・巻末資料の用紙から2, 3枚示して選ばせる。



どこに名前を書きますか。どこから書き始めますか。  
はじめに絵を描いてもいいですよ。

- ・選んだ用紙の使い方を確認し、わからない場合は教える。

### ④ 時間の指示(目安は20分)



それでは書いてください。時間は□□までです。いいですか。

## 書きましょう...

### ① 書く様子を見守り、助けを求められたときはこたえる。

- ・なかなか書き出せないで困っている場合は、声かけ(1または2)をしてはげます。

(例) < 1. 課題について詳しく話し合う >



〇〇さんの大切なものは〇〇なんですね。

- ・「どうして大切ですか。」など、関連する質問をして答えを引き出す。

< 誘導・はげまし >



大切なものを友達にわかるように、書きましょう。

< 2. 子どもが描いた絵を手がかりにして話し合う >



先に絵を描いてみましょうか。  
(絵について) これは何ですか。どんな~ですか。

< 誘導・はげまし >



なるほど、じゃあ今度は文を書いてみましょう。がんばってください。

書いたあとで ...

① 作文を提出させ、ねぎらう。



がんばってたくさん書きましたね。  
では、見せてください。

② 書いた内容について話させる。



では、書いたことを話してください。

- ・読み上げさせるのではなく子どもの頭の中に残っていることを話させる。  
しっかりとあいづちをうち、肯定的に聞く。  
わかりにくい点、情報不足と思われるところについて質問し追加情報を引き出す。  
また、関連質問をして話題を膨らませる。★書き直させる必要はない。

③ 書く姿勢・取り組みについて質問する。



書くとき、一番考えたのはどこですか。  
この作文の面白いところはどこですか。

- ・しっかりとあいづちを打って聞き、肯定的に聞く。工夫した点をほめる。

④ 振り返りを行う。



よくがんばりましたね。〇〇さんの大切なものがよくわかりました。  
とても上手に書けました。話も上手でした。良かったです。  
これで終わりです。

- ・子どもが達成感を持って終われるようにほめる。  
「～というところが特に面白かったです。」等、具体的にほめるとよい。



書くのは大変でしたか？楽しかったですか？



今日の作文、とても上手でしたね。これからもたくさん書きましようね。

メモ:

この課題は「理由を書く」ことに焦点がある。大切な理由がしっかり書けるように声掛けをし、子どもから答えを引き出す。また、それがどんなものなのか詳しく描写できるよう、大きさや色、形など、具体的な質問を重ね、説明のしかたを考えさせる。